

労働組合の「未来」を創る

—理解・共感・参加を広げる16のアプローチ—

労働組合が直面している困り事

労働組合の存在感の低下（2003年→2022年）

勤め先に労働組合があるか「わからない」 10% → 22%

「企業に何も影響を与えない」 10% → 36%

「組合員に何も影響を与えない」 11% → 36%

ユニオン・リーダーの問題意識・悩み

「執行部へのなり手がいない」 71%

「自分の時間や家庭生活が犠牲になる」 38%

出所：（上段）連合総研「勤労者短観」（下段）労働調査協議会「第5回次代のユニオンリーダー調査」

労働組合の未来に向けた5つの提言

1

コミュニケーションの刷新

労働組合への理解・共感・参加を高める鍵は「コミュニケーション」にある。情報の発信や伝達、共有に長けている労働組合は、求心力が高く、運動も成果をあげている。続々と生まれている好事例から、組合コミュニケーションのリデザインをはかっていく。

2

地域（コミュニティ）に軸足を置いた組合活動

日本ではこれからも企業別労働組合が主流をしめるという構図は続くだろう。しかし、企業別労働組合は企業内の民主主義や労使自治だけでなく、地域社会における民主主義や自治の牽引者でもある。地域と共にある労働組合として、組合の存在感を高めていく。

3

人材・ニーズの多様性への積極的対応

雇用形態や性別、国籍、働き方…労働組合におけるダイバーシティ&インクルージョンはこの20年でずいぶん進展した。より多くの労働者を労働組合が代表していくために、組合活動のあり方をアップデートし、個人のキャリア形成と有機的につながる人材育成を行っていく。

4

法律・政策・制度の再検討と見直し

労働組合に関する法律・政策・制度に関する提案はこれまであまり行われてこなかった。しかし、労働組合を社会的に評価し積極的に位置づけるには、これらを発展させることも重要である。多様なニーズに応えるための環境整備を大局的な視点から働きかけていく。

5

組織率にとどまらない新たな目標の追求

労働組合は経済的条件を向上するための組織ではない。人々が長く幸せに生きるための連帯である。そして、そのための取り組みを数多く積み重ねてきた。労働組合が目指す目標と指針をいまいちど言語化し、共通認識にしていくことが運動推進のチカラになる。

労働組合への理解・共感・参加を広げる 16のアプローチ

- | | |
|--|-------|
| 1 組織拡大の現状と課題 | 首藤若菜 |
| 2 労働組合と民主主義の未来 地域とファンダムの可能性 | 宇野重規 |
| 3 批判されるより怖いこと「勤労者短観調査」の20年の比較 | 梅崎 修 |
| 4 労働組合は変わったほうがいい?だとすれば、どこをどうやって? | 富永京子 |
| 5 労働組合と政策形成 | 市川正樹 |
| 6 「労働者代表制」と労働組合法の狭間を埋める | 新谷信幸 |
| 7 企業別労働組合の未来と労働法 | 植村 新 |
| 8 座談会「労働組合の未来のためにできること」 | 玄田有史他 |
| 9 「壁を壊す」をたどる旅
パートタイマー・契約社員等のユニオン・リーダー | 村上陽子 |
| 10 キャリアとしての組合経験 | 縫部浩子 |
| 11 労働組合におけるジェンダー平等推進とクォータ制 | 石川茉莉 |
| 12 Google労働組合の新しさ | 中村天江 |
| 13 離れた職場に連帯を生むコミュニケーション・デザイン | 梅崎 修 |
| 14 労働組合が自ら掲げる理想とは? | 中村天江 |
| 15 労働組合の求心力向上に関する分析 | 松岡康司 |
| 16 地域における「労働者代表機能」を越えて | 平川則男 |



論文 2,13
組合イベントの参加者集めに一苦勞。
ヒントは「ファンダム」(推し)にある!

論文 3,13,2
労働組合に対する「無関心」「わからなさ」、
どうやって克服すればいい?

論文 13,12,15
デジタルか? 対面か?
これからの組合コミュニケーションを考えたい。

論文 8,9,10,15
役員の担い手がいない。育成も難しい。
今、労働組合にできることは?

論文 9,6,7
パートタイムや有期契約で働く仲間と一緒に
労働組合の発言力を高めて職場を良くしたい。どうすれば?

論文 10,11,8
男女を問わず活躍できる労働組合にしたい。
女性から選ばれる労働組合にするためにできることは?

論文 6,8
時間もお金も足りない。
労働組合の二大リソース制約を乗り越える方法とは?

論文 4,14,3
新しいことをしたい、変えたい、と思っはいる。
でも、労働組合は**変革が難しい**。

論文 1,14
働き方も環境もどんどん変わっていく。
今後の**方向性や戦略**をもっとうまく立てたい。

論文 2,16,13
自分たちが暮らす**地域を元気にしたい**。
労働組合の立場で何かできないか?

